

【バングラデシュ事業報告】

●看護師育成プロジェクト

2013 年度の主な活動

看護師育成プロジェクトの開始

(1) 事業の背景・目的

2012 年の保健セクター情報収集・確認調査(JICA)においても触れられているとおり、バングラデシュの保健システムにおける最大の課題は人材である。

WHO 世界保健データによればバングラデシュにおける人口 1,000 人当たりの看護師の数は 0.272 とミャンマー(0.798)、スリランカ(1.930)など近隣諸国と比較しても圧倒的に低い。医師・歯科医師・看護師の合計数もアジア・太平洋諸国 18 ヶ国の中で最も低い値である。2007 年に、低所得国の医師/人口比及び医師/看護師(1:3)から推定されたこれらの不足数は、医師 60,000 人、看護師 280,000 人であった。絶対数の不足に加え、2007 年に実施されたサンプル調査による推計では、資格のある近代的保健医療従事者(医師・歯科医師・看護師等)の割合は全体の 5.3%でしかない。実際、バングラデシュの病院において大学機関等で教育を受けた正規の看護師免許をもつ看護師は 10 人に 1 人ほどの割合である。

正規の看護師免許をもつ看護師が非常に少ないため、医療現場の戦力として非正規(免許を持たない)看護師に頼らざるを得ないのが現状であるが、OJ によるトレーニングしか受けていないため、提供できる医療技術に課題があった。このため非正規看護師の医療技術の質の向上に向け、病院で働きながら受講でき、技術と知識の強化ができる教育プログラムが必要とされていた。

(2) 活動内容

看護師育成プロジェクト

＜対象者＞

バングラデシュにおいて、正規の看護教育を受けていない看護師を対象とする。今回のパイロットプロジェクトにおける定員は 30 名。

＜事業内容＞

- ・プロジェクトとしては 1 コース 30 人を想定し、1 週間に 2~3 回、1 回あたり 2~4 時間の授業を予定
- ・3 か月のコースにおいて、36 回の授業を想定。講義は 15~20 時間。バングラデシュで講義をビデオ撮影予定
- ・2 か月半の時点で試験を実施(落第した場合は 2 週間後に再試験)

(3) 本年度の成果

12 月 30 日に現地の看護師を対象にイントロダクションを開催(アンケート調査も行った)



●その他、兵庫医科大学の学生を対象としたバングラデシュスタディツアーを開催